



PREMIUM WATER
HOLDINGS

SUSTAINABILITY REPORT 2022



INDEX

PHILOSOPHY	理念体系	2
TOP MESSAGE	トップメッセージ	3
FEATURE	特集	5
DECLARATION OF SDGs	プレミアムウォーターホールディングスのSDGs宣言	8
ENVIRONMENT	環境	11
COMMUNITY & SOCIETY	地域・社会	22
GOVERNANCE	ガバナンス	31
COMPANY EMPLOYEE	社員	34

本レポートに使用している写真の一部はイメージです。

PHILOSOPHY

理 念 体 系

プレミアムウォーターホールディングスは水を守り、育むことで、持続可能な社会の実現に寄与します。
基本となる考え方として以下のような理念体系を定めています。

水を守る。人を育む。



PREMIUM WATER HOLDINGS

自社の活動を通じて人々の生活を豊かに
そして世界で一番 愛される会社へ

「日本の天然水」という唯一無二の価値を日本人に
そして世界に伝える事で社会的意義を果たし、
地方創生を実現する

プレミアムウォーター
ホールディングスが
ステークホルダーと交わす約束

VISION

プレミアムウォーター
ホールディングスの
目指す未来

MISSION

プレミアムウォーター
ホールディングスに
与えられた使命

TOP MESSAGE

ト ッ プ メ ッ セ ー ジ



私たちにしかできない SDGsとは何かを突き詰め、 世の中にとって 必要な会社であり続ける

株式会社プレミアムウォーターホールディングス 萩尾 陽平
代表取締役社長

「100年続く企業へ」をグループミッションに掲げ、

天然水という日本の貴重な資源をもとに

事業を展開している私たちにとって、

SDGsへの取り組みは必要不可欠なテーマです。

そのため森林整備や地下水保全、清掃活動、水資源の再利用といった

従来からの活動の継続はもちろんのこと、

「私たちにしかできないSDGsとは何か？」を

常に念頭に置きながら取り組んでまいります。

中でも特に強く意識しているのが、「地域の環境保全」と「社会への還元」です。

自然の恵みを地域社会へ還元することで、持続的な環境保全を実現したい

採水地を含む周辺地域の歴史と風土のおかげで“おいしい天然水”は育まれ、地域の皆様のご理解とご協力を得て採水工場は稼働できています。つまり私たちは、地域社会から“水源”という貴重な恵みを分けていただくことで、初めて事業を展開することができるのです。だからこそ採水工場を建てる際には、最大限に地域社会が潤い、かつ利益を生み続けられるサステナブルな仕組みづくりを最優先で考えます。富士吉田市に本店登記をして地元で税収の形で還元していることや、南阿蘇村の誘致企業第1号として2014年から工場を稼働させたのも、そうした企業方針の一環です。

今後も、私たちが営業努力によってユーザーを増やせば増やすほど、税収も増え、持続的に地域のインフラ整備や自然保護に活かされ、水源を取り巻く環境の保全に役立つという良い循環が生まれます。また、ユーザーが増えるにつれて各地に採水工場を新設することができれば、税収に加えて新たな雇用や経済需要の創出にもつながるため、地方創生に大きく寄与することができるでしょう。

環境保護や社会貢献を声高に唱える派手なSDGsとは違い、私たちの取り組みはあまり世に知られることのない地味なものです。ただ、営利事業として収益を上げることがダイレクトに地方創生に貢献し、ひいては自然環境の保全につながるという“地に足の着いたSDGs”の推進こそが、実はこれからの日本にとって重要なのではないかと感じています。

将来的なプラスチック削減に向けて、できることから着実に推進

そもう一つ、強い意識を持って取り組まなければならないのが、将来的なプラスチックの削減についてです。現在私たちは、衛生的でリサイクル可能な使い切りのペットボトル容器で天然水をお届けしていますが、将来的には容器を自ら回収・リサイクルできる体制を整えるか、ペットボトルの削減につながるような配送のスキームを構築する必要があると考えています。この点に関しても今後の営業努力によってユーザーを増やし、採水拠点を全国に分散して新設することができれば、プラスチックや石油燃料、CO₂等の削減につながる実行可能な選択肢がさらに広がるでしょう。

そのために、まずは私たちにできることから着実に手がけていく必要があります。マイボトルの普及促進はその一つです。全国で151万件*を超える当社の宅配水サービスのユーザーに働きかけ、マイボトルで天然水を外に持ち出すライフスタイルをもっと世に広めることができれば、ペットボトルの消費量は確実に減り、プラスチック削減に結びつけることができます。こうした啓蒙活動についても真剣に取り組んでいく予定です。

これからの時代は、世の中にとって必要な企業の商品しか選ばれなくなる傾向がますます強まっていくでしょう。だからこそ、社会にとって本当に意味のある取り組みとは何か？を突き詰めながら、私たちにしかできないSDGsに取り組んでいきたいと考えています。その想いを実現するためにも、おいしい日本の天然水を“世界で一番多く”お届けできる会社になり、自然の恵みを社会にしっかりと還元し、サステナブルな未来の実現に向けて貢献していくことが今の目標です。

※2022年9月末時点

守るのは価値ある天然水

プレミアムウォーターの天然水は、特定の水源から採水した高品質な原水。

自然の力で磨き上げ、ミネラルを豊富に含んだ天然水を次世代へとつなぐため、持続可能な循環型社会を目指します。

多くのウォーターサーバーの水は、加熱処理がされています。加熱処理を行うと水の中の酸素や炭酸ガスが失われることになります。

非加熱処理の水は水質の高さやおいしさの目安となる溶存酸素が減少しないため、自然本来のおいしさをお届けすることができます。

当社は日本の方々に自然本来のおいしさをお届けするべく、もっとも自然に近く、かつ希少であるナチュラルミネラルウォーターを非加熱処理でお届けしています。加熱処理と比べ、生産管理が難しくコストもかかりますが、安心・安全でおいしい天然水を追求するため、当社ではあえて非加熱処理を採用しています。



2022年 モンドセレクションにて 優秀品質最高金賞・優秀品質金賞を受賞

プレミアムウォーターは「非加熱処理」に加え、自然のままでも飲める水を求めてプレミアムな採水地を厳選しています。さらにくみ上げた原水はいないにフィルターで除菌処理を行っています。その結果、2022年モンドセレクションにて優秀品質最高金賞・優秀品質金賞を受賞。プレミアムウォーターのおいしさは、世界のプロから認められているのです。

※優秀品質最高金賞：北アルプス・吉野・朝来 ※優秀品質金賞：富士吉田・富士・金城・南阿蘇
※採水地：岐阜北方は、審査時点では工場未完成のため、製品化されておりません

安全への取り組み

地下水脈からくみ上げた原水は、4段階以上のフィルターで丁寧に除菌を行い、無菌のクリーンルームで新品のペットボトルにボトリングされます。製造工程では、独自に設けた厳しい品質管理規定により、毎日定期的な水質検査や月に1回の放射性物質検査が行われています。

また、日本人の舌に慣れ親しんだ弱アルカリ性の軟水は、妊娠中のママや赤ちゃんに「やさしい」水です。長い年月をかけてろ過した原水をくみ上げているので、地表に露出した水を使用していません。地表の環境・変化に影響されない、地下水脈から直接くみ上げた安全な天然水です。

衛生的なペットボトル

プレミアムウォーターの容器にはペットボトルを採用しています。宅配方法は、採水地より定期配送される「ワンウェイシステム」のため容器の回収が不要で、省スペース、交換が手軽なのはもちろん、リサイクル可能な使い切りなので、いつでも新品です。また、飲んだ分だけ収縮するので外からの空気も入りにくく、衛生的です。

採水地



カーボンニュートラルへの取り組み

プレミアムウォーターでは、地球温暖化の主要因であるCO₂に対して排出削減目標を設定し、目標達成に向けた取り組みを進めています。

カーボンニュートラルへの対応

日本政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。気候変動の原因となっている温室効果ガスは、経済活動・日常生活に伴い排出されています。

日本政府の方針に基づき、プレミアムウォーターも2050年カーボンニュートラルの実現を目指します。スコープ1・2についてはカーボンニュートラル工場を軸にした省エネルギー活動の推進や再生可能エネルギーの積極的な導入、スコープ3においては地域配送の強化及びステークホルダーとの協働を通じて、温室効果ガス排出の削減に努めます。



カーボンニュートラル工場とは

「カーボンニュートラル工場」とは、CO₂排出量が実質的にゼロとなる工場のことを指し、工場の活動から排出されるCO₂を創エネや省エネによって相殺します。CO₂排出量を削減するには、「エネルギー消費量」と「CO₂排出原単位※」を下げることが必要であり、エネルギー使用量の削減とともに、CO₂排出量が少ないエネルギーへの切り替えを行うことが求められています。プレミアムウォーターではカーボンニュートラル工場の2024年1月実現を目指し、準備を進めています。

※燃料や電力、熱等のエネルギーの使用に対する、CO₂排出量を示す単位



DECLARATION OF SDGs

プレミアムウォーターホールディングスのSDGs宣言

プレミアムウォーターホールディングスでは「水を守り、人を育むこと」を掲げ、
事業活動を通じたさまざまな社会課題に取り組み、私たちに関わる全ての人が豊かになることを目指します。

そして社会課題の解決と経済発展の両立を図ることによって、
持続可能な社会の実現に貢献していくことを宣言いたします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



マテリアリティ特定プロセス 4つのテーマ

1

環境を守り育むことで自然を豊かに

2

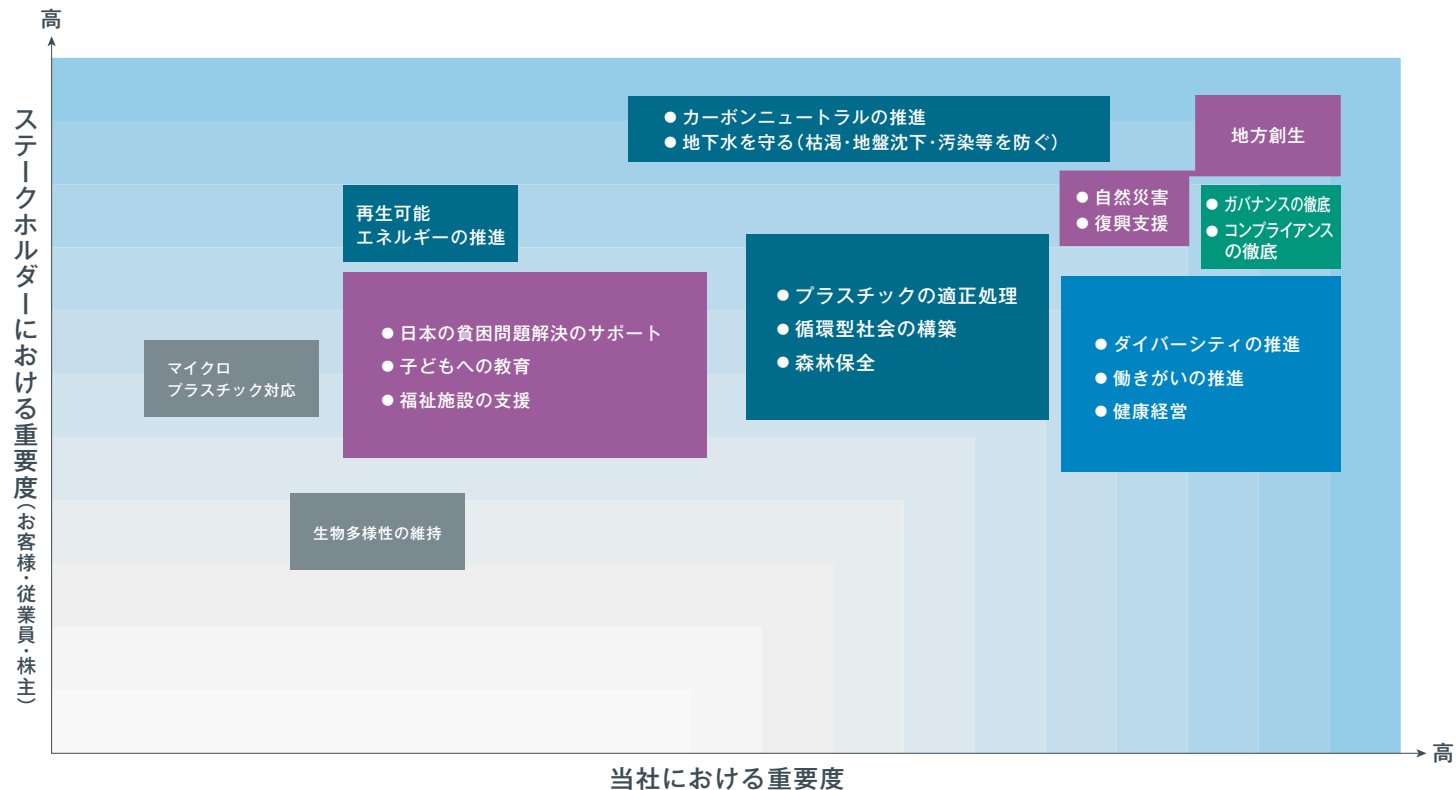
地域と共生し人々の暮らしを豊かに

3

公正で透明かつ潤いのある組織を

4

多様性を尊重し働きがいのある環境で
社員の人生を豊かに



持続可能な未来を目指して 4つのテーマを重点的に展開

自然の恵みである天然水を守るため、そして持続可能な未来のために、
私たちは事業を通し4つのテーマでサステナブルな取り組みを
推進しています。

1 環境を守り育むことで自然を豊かに

- 目標
- 水資源の保全
 - プラスチック資源循環型モデルの実現
 - CO₂削減によるカーボンニュートラルへの貢献



2 地域と共生し人々の暮らしを豊かに

- 目標
- 地域コミュニティの発展
 - 地域環境の保全
 - 地域経済圏の構築



3 公正で透明かつ 潤いのある組織を

- 目標
- 企業統治の実効性・透明性の向上に向けた法令等の遵守
 - 適時適切な情報開示等を通じたコーポレート・ガバナンスの強化



4 多様性を尊重し働きがいのある 環境で社員の人生を豊かに

- 目標
- ダイバーシティ&インクルージョンの推進による多様な人材の活躍の場を創造
 - 社員の働きがいの向上
 - 心身ともにいきいきと働ける職場環境の実現



ENVIRONMENT

環境

環境を守り育むことで自然を豊かに

6 安全な水とトイレ
を世界中に



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



目 標

水資源の保全

プラスチック資源循環型モデルの実現

CO₂削減によるカーボンニュートラルへの貢献



私たちは事業活動を通じて、関わる人々の生活が豊かになることを目指しています。それを実現するため、天然ミネラルが豊富なナチュラルミネラルウォーターを次世代へ受け継いでいくべく、当社ではこれからも「水資源の保全」を中心に、持続可能な社会の構築に向けた「プラスチック資源循環型モデルの実現」、地球温暖化防止に貢献する「カーボンニュートラルへの貢献」の3つに重点を置いた取り組みを実施していきます。

こうした取り組みは、当社製品をご愛用いただくお客様の数が増えれば増えるほど、社会課題を本質から解決することにつながります。今後もステークホルダーの皆様にご協力をいただきながら、次世代へ豊かな生活を届けるため持続可能な環境構築へ貢献していきます。



8つの水源ごとに 最適な涵養活動により水資源を保全する

地域ごとの最適な
涵養活動の展開

次世代に
水の価値を伝える教育の展開

2030年 KPI達成に向けたプラン

- ・水源の水質管理の強化
- ・地下水の有効活用
- ・水の品質管理の徹底
- ・水資源の涵養／保全

地下水の保全から、未来の水を守る

1 水を創る

2 未来に語り継ぐ

目的

地下水が限りある資源であることを踏まえ、地下水の枯渇を防ぎ、急激な地下水位の低下や地盤沈下等、地下水の減少による障害が発生しないよう、地下水の涵養と適正な利用を図る

日本の天然水の価値に対する次世代の理解を広げ、未来における水の持続可能性を追求

現取り組み

- ① 水源ごとの揚水量・生産本数を把握
- ② 富士吉田、南阿蘇では、地域にあわせた涵養活動を実施

子どもたちに水の価値や実情を伝える教育活動を実施

取り組みの 方向性

- ① 今後も継続して地下水位を把握するとともに、各自治体とのコミュニケーションを図る
- ② 地域ごとの最適な涵養活動に取り組む

今後も継続して次世代に水の価値を伝える活動を実施

1 水を創る

私たちは涵養活動を通じて、地下水の保全に取り組んでいます。



水源涵養機能の高い森が良い水資源を生み、豊かな食生活を生むという考えから、西桂工場のある山梨県の西桂地区では地域の水資源育成に向け、健全な森を作る間伐等の整備を行っています。



熊本の地下水を守るため、一年中水を溜める農法によってお米を栽培する“地下水を守るん田”活動を支援しています。

<https://minamiaso-kanpo.jp/chikasui/>

各自治体とのコミュニケーションと涵養活動

	企業名	地下水の揚水量に対する涵養活動の有無	涵養活動等の内容
富士吉田	プレミアムウォーター富士株式会社	山梨県の条例により涵養活動計画書を提出	揚水量に応じた涵養活動の委託
南阿蘇	製造委託工場	有り	南阿蘇村地下水環境保全基金への寄付 地下水を守るん田への支援

富士吉田、南阿蘇では、地域にあわせた涵養活動を実施しています。

今後は未実施の地域においても、最適な涵養活動の取り組みを進めていきます。

2 未来に語り継ぐ

私たちは水の価値を次世代に伝え、
天然水の実情を知ってもらうためのさまざまな活動を行っています。



『キャリアパスポート』を活用した教育の一環として、「天然水や自然の大切さ」を学べる授業を行っています。天然水を取り扱う企業だからこそ「日本の天然水という価値ある資源を未来に残していくために、自分たちにできることは何か」について、子どもたちにしっかりと伝えています。

授業内容

私たち人間の体って何%が水でできているのか知ろう	ろ過実験 ～きれいな水が生まれる条件を知る～
水はどこで生まれるのか知ろう	水の飲み比べ
天然水と水道水の違いを学ぼう	水や自然を守るために自分たちにできることを考えよう
天然水はどうやって私たちのお家まで届くのか追ってみよう	

プラスチック資源循環型モデルの実現



容器・資材のサステナブル資材含有率の向上、
製品の完全循環型モデルを目指します。

安全・衛生面の配慮から、お客様に安心安全に水を飲んでいただけるよう、私たちの製品はプラスチックを活用しています。プラスチックにおけるサステナブルな取り組みについては、4Rの中でも「Reduce」「Recycle」に重点を置いた取り組みを推進しています。

設計段階から環境配慮資材を組み込み、リサイクルしやすいペットボトル/ウォーターサーバーへと規格を見直すとともに、消費者に対するサステナブルな啓蒙まで、一貫通貫のプラスチック資源循環型モデルを実現していきます。

製品の
完全循環型
モデルの実現

ペットボトル分別率

100%

サステナブル資材を

50%以上利用

ペットボトル / ウォーターサーバーの循環型モデルの構築

— 消費者の分別意識を高め、マテリアルリサイクルを追求する —

		1 設計・製造	2 消費・分別	3 回収・リサイクル
現 取 り 組 み	ペット ボトル	ペットボトルの構造を変更し、従来より20%軽量化したボトルに順次入れ替え、全水源の97%が軽量化を実施済み（2020年4月）	当社ペットボトルの分別率は85%	分別がきちんとされている場合、86.0%がリサイクルされている
	ウォーター サーバー	リサイクル時に取り外しがしやすい設計を行う	お客様ご自身で廃棄するのではなく、当社指定事業者が回収を行うことで正しいリサイクルを推進する	① プラスチック部品→再生ペレット化 ② 金属・非鉄金属リサイクル部品→スクラップ原料
取り組みの 方向性		① プラスチック削減のために、容器・資材等のサステナブル素材（リサイクル材・植物由来等）の使用を50%以上とすることを目指す ② ペットボトルの軽量化に向けた研究開発 ③ 植物性の素材を使ったプラスチックボトルの検証	① 製品（ペットボトル/ウォーターサーバー）の完全循環型モデルを実現する ※ペットボトル回収率100% ② ペットボトルの分別に関する現状把握 ③ お客様に対する啓蒙活動 ④ マイボトル活用の推進	① マテリアルリサイクルの推進 ② 地方自治体と提携 ③ マテリアルリサイクル推進に向けたサポート

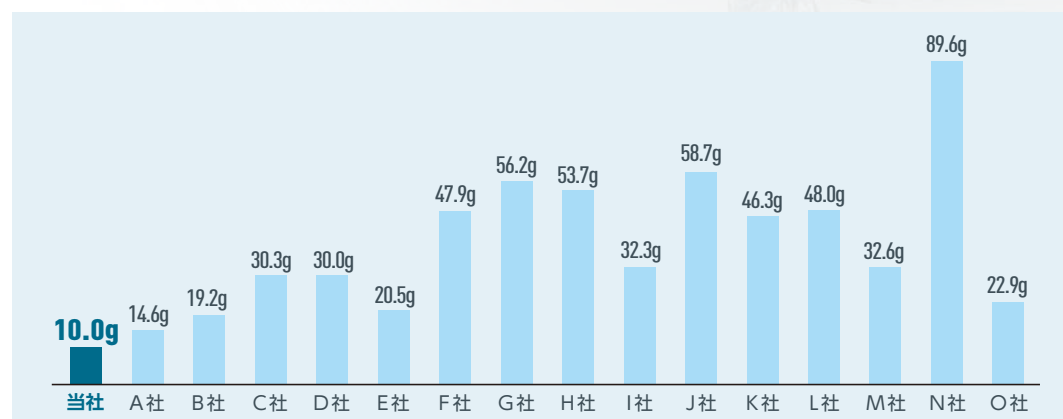
1 設計・製造

ペットボトルの構造を変更し、2015年以降従来より
20%軽量化(プラスチック使用量削減)した
ペットボトルに順次入れ替え、
2020年4月時点では、
全水源の97%が軽量化を実施済みです。
軽量化前と比べ、年間931トンの
プラスチック使用量の削減を実現しています。
さらに、2030年までに
現重量から15%削減を目指しています。



ペットボトル重量
20%DOWN

1L当たりのペットボトル重量比較 (当社調べ)



2030年プラスチック削減目標

製品

サステナブル
素材

50%

プラスチック使用量 15% 削減

ボトル

サステナブル
素材

50%

2 消費・分別

リサイクルマークがついているプラスチックは86.0%※がリサイクルにつながりますが、正しく分別がなされていない場合、リサイクルにつなげることは困難です。私たちの宅配水というビジネスでは、お客様を特定できるため、お客様一人ひとりに正しい分別を依頼することが可能です。

※参照:PETボトルリサイクル推進協議会 年次報告書2022 <https://www.petbottle-rec.gr.jp/nenji/2022/index.html>

ペットボトル
分別率

85%

※お客様アンケートより、
当社ペットボトルの分別率を調査
※2022年5月時点

今後の取り組み

お客様への啓蒙を徹底してペットボトルリサイクルに関する知識を共有するとともに、正しい分別につなげていく

お客様に対してマイボトルの利用を促進する等、廃棄が発生しない配慮を行う

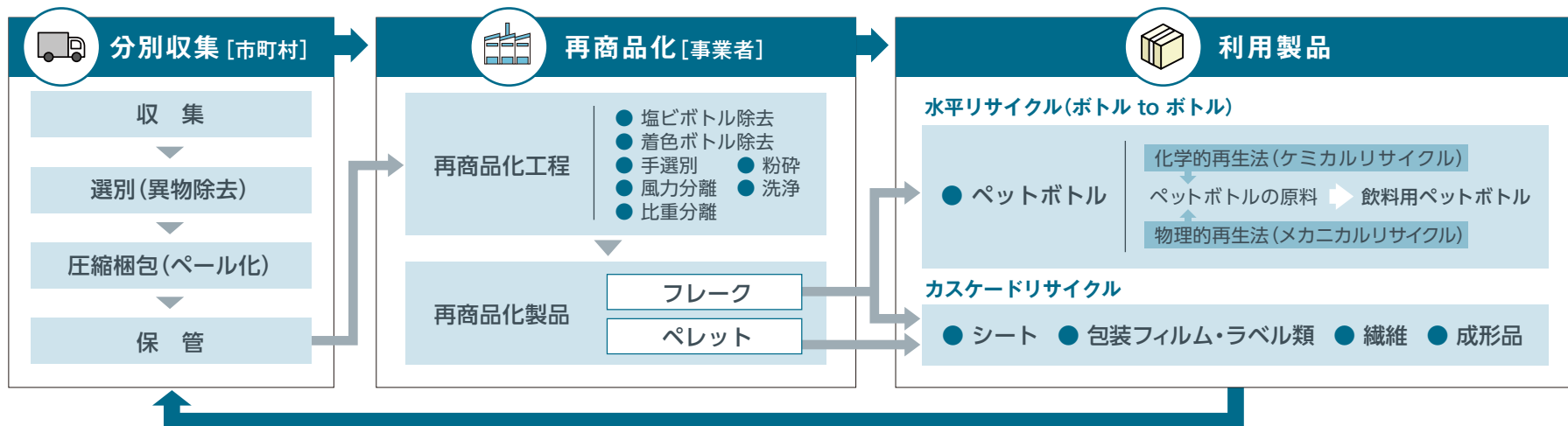
3 回収・リサイクル(プラスチック)

日本のペットボトルリサイクル率は86.0%と、世界最高水準です。

ただ、回収されたペットボトルが再びペットボトルとなる水平リサイクル率は20.3%に留まっています。

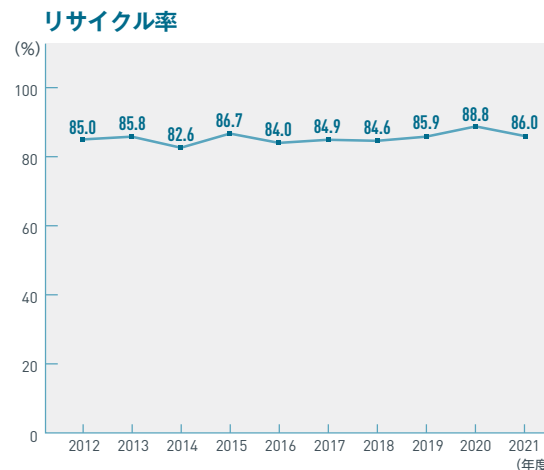
今後、ペットボトル資源の循環を促進する「ボトル to ボトル」の比率を高めることが求められています。

指定ペットボトル回収後のフロー



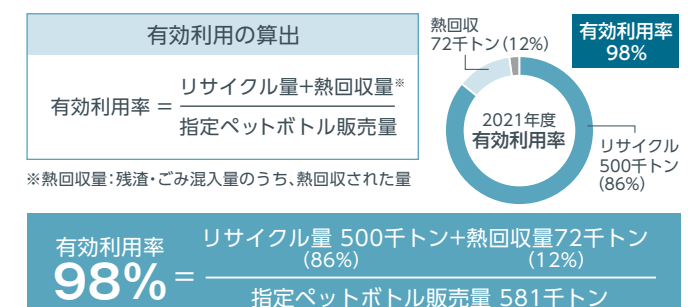
指定ペットボトルの回収後の有効利用率は98%と高いが、リサイクル率はダンボールより低い

指定ペットボトルのリサイクル率は86.0%で2011年段階より増加傾向にありますが、ダンボールのリサイクル率が9割あるのに対し、指定ペットボトルのリサイクル率は低くなっています。これはペットボトルが正しく分別されていないことに起因しています。



2030年度までにペットボトルの100%有効利用*を目指す 2021年度ペットボトルの有効利用率は98%

※有効利用: リサイクルに熱回収を加えたもの

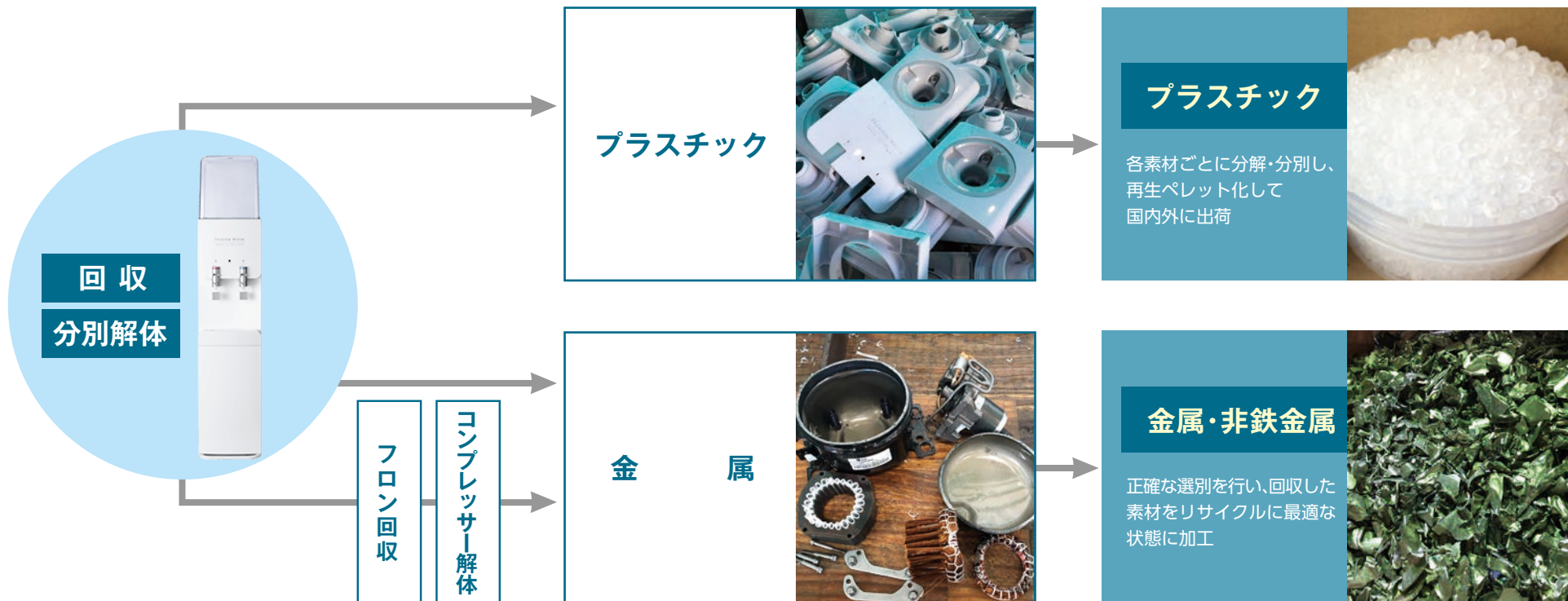


(出典: PETボトルリサイクル推進協議会 年次報告書2022)

4 回収・リサイクル(ウォーターサーバー)

ウォーターサーバーは回収不可となっている自治体もあり、お客様ご自身で処分する場合は注意が必要です。
プレミアムウォーターのウォーターサーバーはレンタルのため、本体をお客様ご自身で処分していただく必要はありません。
解約時には、ウォーターサーバー本体を回収するため、正しい処理が可能です。

使用済みウォーターサーバー処理フロー



当社指定の廃棄事業者では自社工場内で解体選別や破碎による減量化を行うことで、資源再生製品を出荷する際の輸送コスト、CO₂排出量を削減しています。

また、第1種フロン類回収業者に登録済みで、自社工場内にてフロンガスを大気中に放出させることなく完全に回収し、適正処理を行っています。



脱炭素社会の実現を目指し、カーボンニュートラル工場を軸にした省エネルギー活動の推進、再生可能エネルギーの積極的な導入及びバリューチェーンのステークホルダーとの協働を通じて、CO₂をはじめとする温室効果ガスの排出量の削減に努めます。

SCOPE 1・2

50%削減

※2022年3月期比

CO₂総排出量

2021年4月～2022年3月 5,602 t

2022年4月～2022年9月
上半期 3,021 t

プレミアムウォーターは「COOL CHOICE」に賛同しています

プレミアムウォーターは、2017年3月より環境省が行う「COOL CHOICEできるだけ1回で受け取りませんかキャンペーン～みんなで宅配便再配達防止に取り組むプロジェクト～」に賛同しています。

宅配便の再配達による環境負荷の増加や社会的損失を防ぐため、新たな配送サービスの取り組みとして一部地域を対象に『指定場所配送サービス』を実施しています。



カーボンニュートラル工場における取り組み

再生可能エネルギーの使用によるCO₂削減

- ① 太陽光発電の導入 ② バイオマス(廃樹脂)ボイラーの使用
- ③ カーボンフリー電気・ガスの使用

省エネの推進

- ① 省エネ機器への入替

工場機器の排熱利用

- ① 原料水の昇温による熱源を排熱利用
- ② 空調機器の水冷化

COMMUNITY & SOCIETY

地 域 ・ 社 会

地域と共生し人々の暮らしを豊かに



目 標

地域コミュニティの発展
地域環境の保全
地域経済圏の構築

住み続けられる街づくりを

貧困をなくそう

全ての人に健康と福祉を

質の高い教育をみんなに

陸の豊かさを守ろう



地域・社会への貢献

生活インフラに欠かせない「水」をお届けしている私たちは、日常・非常時にかかわらず、安心安全な水を飲める環境を提供することが使命と考えています。そのため非常時にも、安定して水を供給できるよう自治体との災害協定を結び、インフラ整備の支援をしてきました。また持続可能な支援を行うため、当社の水源がある地域を中心に、環境保全を含めた地域課題の解決に取り組んでいます。今後はより地域に密着し、地域や自治体の皆様とともに、天然水を通じてより豊かな暮らしの実現に向け取り組んでいきます。



生活インフラに欠かせない「水」をお届けしている私たちは、
日常・非常時にかかわらず、安心安全な水を飲める環境を提供することが使命と考えています。
そのため非常時にも、安定して水を供給できるよう自治体との災害協定を結び、
インフラ整備の支援をしてきました。また持続可能な支援を行うため、
当社の水源がある地域を中心に、環境保全を含めた地域課題の解決に取り組んでいます。
今後はより地域に密着し、地域や自治体の皆様とともに、
天然水を通じてより豊かな暮らしの実現に向け取り組んでいきます。

プレミアムウォーターは地域社会と共生し、
人々の暮らしの豊かさと
持続可能な社会の実現を目指します。



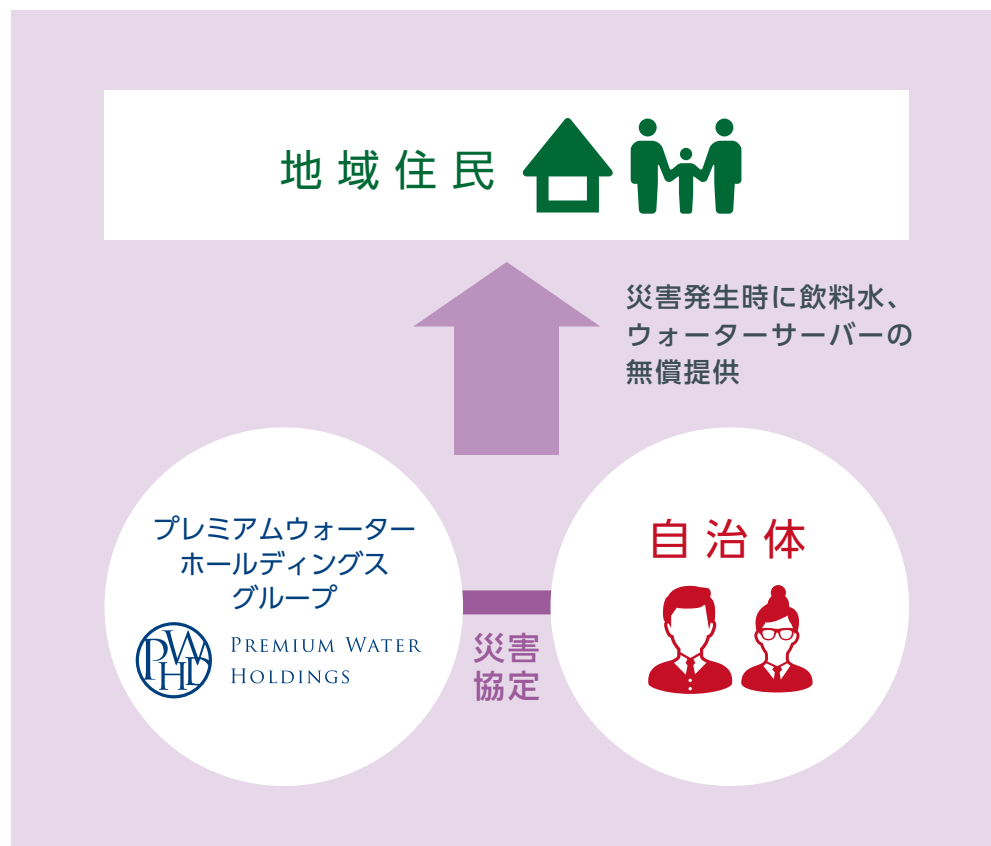
ステークホルダーとの対話を重視し、
豊かな暮らしに向けて
ともに取り組んでいきます。



地域共生活動を
従業員の新たな活躍の場と捉え、
積極的な活動を推進します。



自治体との災害協定締結によって、災害時に飲料水の供給を実現します。



災害発生時の支援

1

災害発生時に、必要に応じて被災者に対し飲料水を供給することを目的として、山梨県富士吉田市・岐阜県北方町・兵庫県朝来市と「災害時における飲料水の供給に関する協定」を締結しています。同市町村での災害発生時に、被災者に飲料水の提供が必要となった場合、飲料水の無償供給及びウォーターサーバーの無償貸与を行います。

2

プレミアムウォーターのウォーターサーバーは、災害時の備蓄用の水としても利用が可能です。

プレミアムウォーターは災害時における飲料水供給をはじめ、義援金の寄付や被災地支援品の寄贈、被災した子どもたちを支援する少年サッカーへの特別協賛等、さまざまな復興支援活動を行っています。

取り組み



被災地復興を目的としたサッカー大会の開催

サッカーの楽しさと技術の向上とともに、熊本地震で被災した子どもたちの心身の健全な回復に役立つ場となることを目的として、2017年6月17日に開催されたNPO法人熊本県キッズサッカー協議会主催の「PREMIUM WATER Presents キッズ&ジュニアサッカーフェスティバル」に特別協賛しました。約1,260名(126チーム)の子どもたちが参加してくれました。

被災地復興プロジェクト

『被災地復興プロジェクト』とは、採水地の一つ山梨県富士吉田市で収穫したお米「プレミアムウォーター米」を宅配水のご契約者様限定の通販サイト「PREMIUM MALL(プレミアムモール)」にてチャリティ商品として販売し、その売上の一部を義援金として被災地へ寄付するというもので、販売開始から約3週間で完売しました。本プロジェクトにて集まった義援金は令和元年台風第15号及び19号による被災地に、赤い羽根共同募金(社会福祉法人中央共同募金会)を通して義援金120,000円を寄付しました。

復興支援

台風被災地への天然水寄贈

令和4年9月の台風15号で被害の発生した静岡県静岡市清水区への災害支援として「ナチュラルミネラルウォーター(12L)」2,048本を寄贈しました。



西日本豪雨による被災地支援品の寄贈

城南信用金庫の協力のもと、城南信用金庫が持つ全国の信用金庫のネットワークを活用して、愛媛信用金庫と連携を行い、2018年7月28日に支援品として避難所へ「ナチュラルミネラルウォーター(12L)」250本と「ウォーターサーバー」20台を寄贈しました。



熊本地震における義援金寄付

南阿蘇村の復旧・復興を支援するため、2016年5月23日～8月31日の期間における南阿蘇天然水の売上金額の一部(1,624,075円)を南阿蘇村の義援金窓口を通じて寄付しました。



北海道地震による被災地支援品の寄贈

2018年9月、被害状況を踏まえ厚真町役場と協議のうえ、各避難所へ「ナチュラルミネラルウォーター(12L)」1,200本と「ウォーターサーバー」14台を寄贈しました。

寄贈先：総合福祉センター/厚真スポーツセンター/本郷マナビィハウス/厚南会館/豊丘マナビィハウス

貧困をなくそう



子ども食堂へのお米、天然水の寄付

子ども食堂へ自社収穫米を寄付

貧困や孤食という問題を抱える子どもたちの食が少しでも豊かになることを目的に、貧困家庭や孤食の子どもに食事を提供する「子ども食堂」に自社工場のある富士吉田で収穫したお米を寄付しました。

実績 合計 **1,300 kg**
(約20,000食分*)

2019年 | お米「ミルキークイーン」 350kg
(約5,400食分*)を寄付

2018年 | お米「ミルキークイーン」 350kg
(約5,400食分*)を寄付

2017年 | お米「ミルキークイーン」 600kg
(約9,200食分*)を寄付

※1食分を米65gにて計算



天然水の寄付

子ども食堂や社会福祉法人に紙パックの天然水を約16,200本を寄付しました。

約 **16,200 本**



宅配水の有効活用として、福祉施設へ無償提供

プレミアムウォーターのご利用者様がお受け取りにならなかった宅配水の有効活用と福祉への貢献を目的に、2014年より富士吉田市の障がい者福祉施設に天然水とウォーターサーバーを無償で提供しています。



小学校での出張授業

府中市立府中第五小学校 小学4年生約120名を対象に出張授業を実施

『キャリアパスポート』を活用した教育の一環として、
「天然水や自然の大切さ」を学べる授業を行っています。
天然水を取り扱う企業だからこそ「日本の天然水という価値ある資源を未来に残していくために、
自分たちにできることとは何か」について、子どもたちにしっかりと伝えています。



陸の豊かさを守ろう



森林整備活動（西桂地区）

水源涵養機能の高い森が良い水資源を生み、豊かな食生活を生むという考えから、西桂工場のある山梨県の西桂地区では地域の水資源育成に向け、健全な森を作る間伐等の整備を行っています。



富士山清掃活動

富士山周辺の環境を守ることが数十年後の水資源の保護につながるという考えから、富士吉田市主催「富士山吉田口登山道周辺清掃活動（毎年5月頃開催）」及び NPO法人フジヤマフォーラム主催「富士山の環境を守る清掃活動（毎年11月頃開催）」へ継続的に参加しています。



GOVERNANCE

ガバナンス

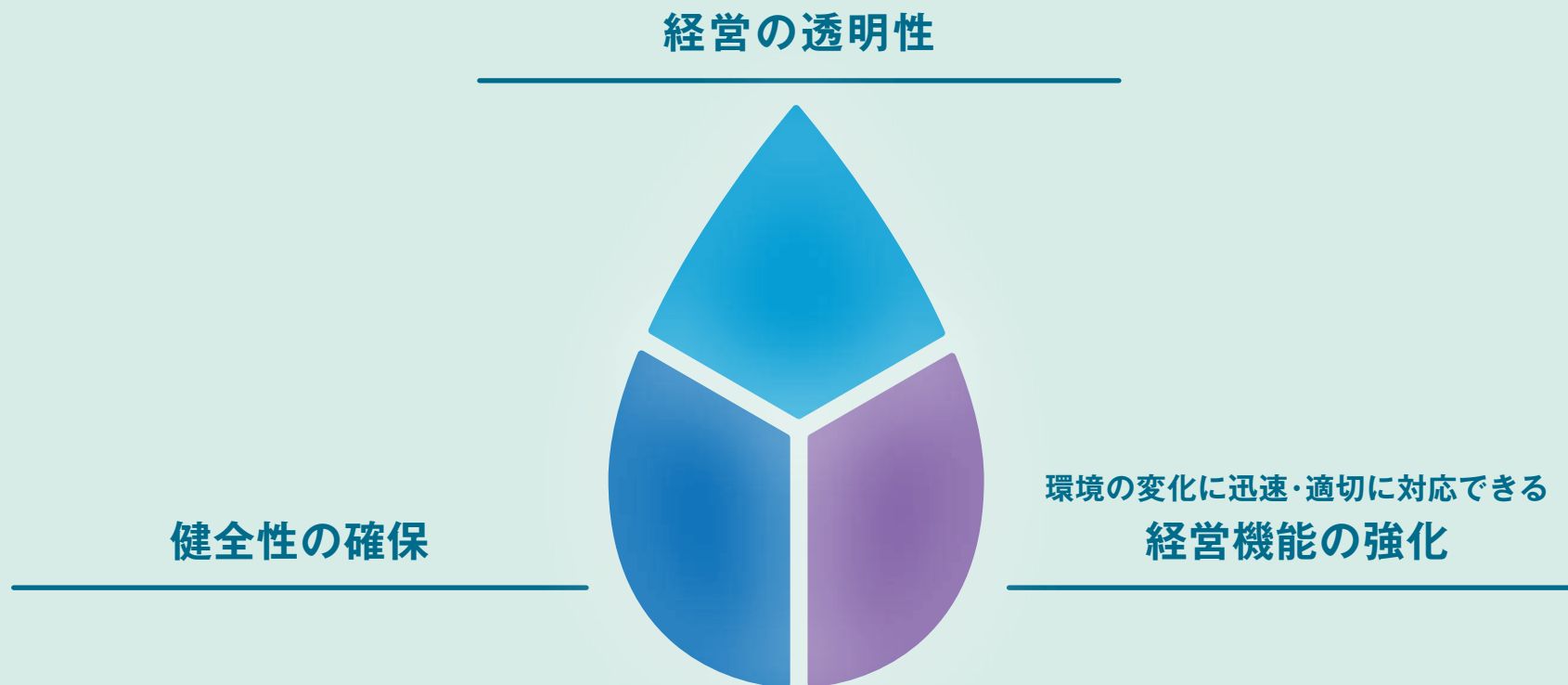
公正で透明かつ潤いのある組織を

16 平和と公正を
すべての人に



目 標

企業統治の実効性・透明性の向上に向けた法令等の遵守
適時適切な情報開示等を通じた
コーポレート・ガバナンスの強化

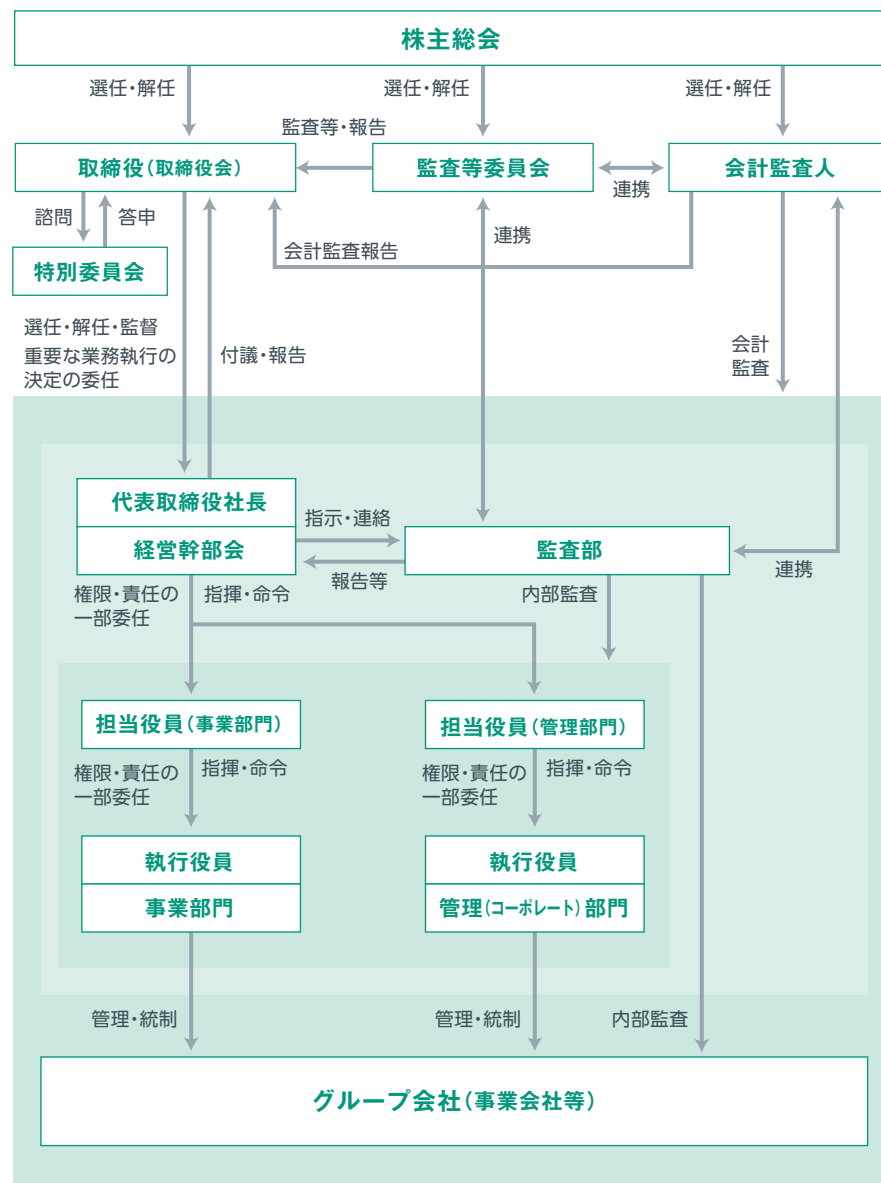


ガバナンス 3つの柱

プレミアムウォーターホールディングスは、企業価値の継続的向上を目的に、経営の透明性と健全性の確保及び環境の変化に迅速・適切に対応できる経営機能の強化がコーポレート・ガバナンスの重要な目的であると考えています。今後も適切なコーポレート・ガバナンス体制の強化に努め、経営における意思決定及び業務執行の効率化・透明性を向上させることを基本方針に、企業価値・株主共同の利益の持続的な向上に努めています。

引き続き、コンプライアンス経営の徹底、リスクマネジメントの強化、監査体制の充実を行うことで、コーポレート・ガバナンスの構築・維持に努めていきます。

コーポレート・ガバナンス体制



会社の機関の内容及び内部統制システムの整備の状況等

取締役会

当社の取締役会は、取締役17名(うち監査等委員である取締役は5名)であり、そのうち社外取締役は4名(うち監査等委員である社外取締役は3名)で構成しております。当社の取締役会は、当社グループの経営又は事業運営に関する重要事項、法令で定められた事項に関する意思決定を行うとともに、定款及び取締役会の決議等に基づいて取締役に委任した事項の職務執行状況等を監視・監督しております。

また、上記のほか、当社は、原則として月1回の定時取締役会の開催に加え、重要案件が生じたときに臨時取締役会を開催し、又は会社法第370条に基づく書面決議を行うことにより、職務執行に対する監視・監督の強化と意思決定の迅速化の強化を図っております。

経営幹部会

当社は、取締役から委任された重要事項の審議又は業務執行の決定等を行う機関として経営幹部会を設置しております。経営幹部会は、常勤の取締役9名及び取締役会にて選任された上級執行役員4名で構成されております。経営幹部会は、「職務権限一覧表」に定めた決裁事項に基づき、会社の重要な事項の審議・決裁・承認・報告を行い、迅速な意思決定を実現しております。

監査等委員会

当社の監査等委員会は、監査等委員である取締役5名(うち過半数の3名は社外取締役)で構成しており、毎月1回の定時監査等委員会を開催するほか、速やかに審議又は決定すべき事項が生じたときは臨時監査等委員会を開催いたします。また、監査等委員会の活動の実効性を確保するため、監査等委員である取締役の中から監査等委員会の決議により常勤の監査等委員を1名置き、常勤の監査等委員が当社グループの重要な会議に出席し、取締役の職務執行状況等の把握と監視に努めるとともに、監査部及び会計監査人と連携して実施する多角的な観点に立った監査手続を通して、法令遵守の状況の点検及び確認、財務報告に係る内部統制を含めた内部統制システムの整備及び運用の状況等の点検及び確認を経て、取締役の職務執行が法令及び定款に適合し、その業務が適正に遂行されているかを監督及び監査いたします。

監査部

当社は、会社の資産の保全のため、また、業務の適正な執行状況を確認するため、監査部を設置しており、専任担当者2名が監査を行っております。

内部監査に関する基本事項を内部監査規程に定め、監査等委員会及び会計監査人と内部監査情報の緊密な連携の下、内部監査計画書に基づき実施しております。内部監査結果は代表取締役及び監査等委員会に報告するほか、監査対象部門と意見交換を実施し必要に応じて改善を促しフォローアップを行うことにより、不正行為の未然防止等に努めております。

COMPANY EMPLOYEE

多様性を尊重し働きがいのある環境で
社員の人生を豊かに

社 員



目 標

ダイバーシティ＆インクルージョンの推進による
多様な人材の活躍の場を創造
社員の働きがいの向上
心身ともにいきいきと働ける職場環境の実現

心と体の健康づくり

多様性の尊重

働きがいの追求

社員 3つの柱

私たちは、自社の活動を通じて人々の生活を豊かにしていきたいと考えています。お客様や地域・自治体の皆様はもちろんのこと、社員がいきいきと働ける環境をつくり、一人ひとりの社員が活躍できるよう多様性と向き合います。また、社員の心と体の健康づくりにも取り組んでいきます。

心と体の健康づくり

多様性を尊重し働きがいのある環境で
社員の人生を豊かに

多様性の尊重

働きがいの追求



心と体の健康づくり

心と体の健康づくりを促進し、維持できる環境をつくる

多様性の尊重

多様性を尊重・包摂し、一人ひとりが活躍できる環境をつくる

社員が働きやすい環境づくりと ダイバーシティへの取り組み

プレミアムウォーターホールディングスでは、社員が働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいます。特に女性社員が多い当社にとって女性が働きやすい環境を整えることは、会社全体の生産性を高めることにもつながります。

産前産後休業や育児休業・育児休業給付、育児休業中の社会保険料免除のほか、制度の周知や情報提供を行っています。

在宅勤務ができる環境が整っています。

評価制度の基準に「仕事とプライベート」に関する項目を設けており、公私ともに充実させ、働くことに対するモチベーションにつながる取り組みを実施しています。

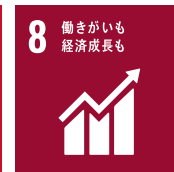
妊娠中や育児休業からの復職時に、営業職から内勤への異動実績が多数あります。

AGRIKO

当社は多様性を尊重する取り組みのひとつとして、「AGRIKO FARM」の活動を支援しています。

「AGRIKO FARM」は養殖と水耕栽培のシステムを合わせ持つサステナブルな農業システム「アクアポニックス栽培」を採用した「循環型農福連携ファーム」です。プレミアムウォーターでは障がいを持つ従業員数名がファームの点検や手入れの作業に従事しているほか、アクアポニックス栽培の水槽を提供する等の協賛を行っています。





社員一人ひとりが公私ともに充実感をもち、
企業として働きがいを感じる環境をつくる

教育制度の整備

個人の成長を促す目的で、プレミアムウォーターでは全社員が学べる教育環境を提供しています。受講推奨カリキュラムを明確にすることで評価される知識やスキルを明示し、階層別に必要な知識を高めながら、仕事の質の向上に取り組んでいます。

研修カリキュラム

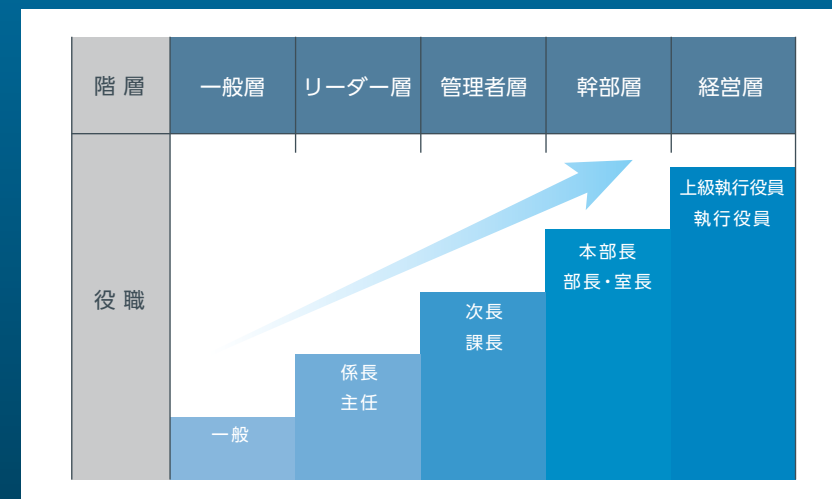
● 受講対象者 ○ 受講資格者(準対象者)

研修講座	導入研修①	導入研修②	導入研修③ (新卒のみ)	コンプライアンス研修	管理監督者研修	評価者研修	組織論	役員研修	財務研修①	財務研修②	予算統制	戦略・分析
幹部層							○	●	○	●	●	●
管理者層	○	○			●	●	●		●		○	○
リーダー層	○	○										
一般層	●	●	●	●								

キャリアステップ

社員のモチベーション向上と組織の活性化を図ることを目的として、半年に一度キャリア面談によるキャリアアップの機会を設けています。平均的には6～7年で管理職となりますが、実力があれば3年で管理職になるケースもあります。また次世代幹部育成制度「NEXT」では、若手社員が経営幹部主体の営業会議やマネジメント研修等に参加することができます。

階層と役職の関係性





会社概要

会社名	株式会社プレミアムウォーターホールディングス
所在地	東京本社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-23-26 本店 〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田4597-1
設立年月日	2006年10月13日
資本金	4,450百万円
代表取締役社長	萩尾 陽平

事業内容	自社ブランド「PREMIUM WATER」を中心とするミネラルウォーターの宅配事業を行う子会社等の経営管理及びそれに付帯又は関連する業務
グループ従業員数	1,167名(役員、臨時従業員含まない)
男女別従業員数	男性 745名・女性 422名
平均勤続年数	4年3ヶ月(男性 4年4ヶ月・女性 3年11ヶ月)
URL	https://premiumwater-hd.co.jp/



※2022年3月31日現在